

科 目 名	天然薬物作用学特論				
担 当 教 員 名	教授 井上 誠	単位数	講義 2	配当学期	秋学期
講 義 の 概 要	<p>多くの植物由来天然化合物は医療現場で治療薬として、また、基礎薬学研究で試薬として使用されており、それらの必要性と有用性は広く認められている。さらに複数の生薬より構成される漢方方剤は、新薬（合成薬）とは異なる特長を持った天然薬物として医療現場で種々疾患に対する使用が増加している。本特論では、天然化合物や漢方方剤などの天然薬物の有用性を、これまでに集積されてきた薬理的、薬剤学的、生化学的、さらに、分子生物学的知見を学ぶことにより検証する。そして、今後の医療における天然薬物の役割と展望について、最新の知見や研究成果より学ぶ。</p>				
講義の内容・スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1. 漢方方剤の評価・薬効解析の変遷について説明できる。 2. 漢方方剤の評価・薬効解析における最近の進歩について説明できる。 3. 天然物化学における最近の進歩について説明できる。 4. 認知症に有効な天然薬物について説明できる。 5. アレルギー疾患に有効な天然薬物について説明できる。 6. 循環器系疾患に有効な天然薬物について説明できる。 7. 糖尿病に有効な天然薬物について説明できる。 8. 肥満に有効な天然薬物について説明できる。 9. 癌および悪性新生物に有効な天然薬物について説明できる。 10. 肝臓疾患に有効な天然薬物について説明できる。 11. 腎臓疾患に有効な天然薬物について説明できる。 12. 消化器系疾患に有効な天然薬物について説明できる。 13. 骨疾患に有効な天然薬物について説明できる。 14. 筋萎縮症に有効な天然薬物について説明できる。 15. 植物由来食品成分の生体機能調節作用について説明できる。 				
評 価 方 法 (基 準 等)	レポート (50%)、口頭発表及び質疑応答 (50%)、並びに、出席状況 (2/3 以上の出席日数) による総合評価				